

「課題名：広島県内の新鮮凍結血漿の使用状況と
その患者予後の検証のための多施設共同研究」について

○ 研究の意義・目的

疾患に伴い、新鮮凍結血漿（FFP）の輸血が必要な場合があります。その使用基準については厚労省の「血液製剤の使用基準」で規定されており、それに従ってあなたの主治医は輸血を決定します。しかし、FFPの輸血における効果や生命予後について検証されたことはほとんどありません。このことを検証するために、広島県内の14医療機関と協力して、FFP輸血の効果を検討したいと考えています。この研究は、平成23年に発足し、広島県と広島赤十字血液センター及び県内の主な医療施設で構成される「広島県合同輸血療法委員会」の研究事業として行われます。

○ 研究対象者

平成29年10月30日（承認日）から平成31年3月31日までに、広島大学病院内でFFP輸血を行う方々を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、輸血前後の検査データや輸血後28日目の状況等を診療録（カルテ）から抽出して、集計を致します。このため、この研究のために追加の採血や医療行為はありません。カルテから転記する具体的な項目は年齢、性別、疾患名、手術の有無とある場合にはその術式、FFPの輸血前後のAPTT、PT、フィブリノゲンなどの凝固検査、FFPの輸血開始日と使用量・使用日数、赤血球・血小板輸血の有無とその使用量、FFP輸血後28日目の状態で、個人が特定出来る情報は転記しません。

○ 研究期間 平成29年10月30日（委員会承認後）～ 令和3年9月30日（解析する期間を含みます）

○ 共同研究施設（本院以外）

広島赤十字・原爆病院、広島市立広島市民病院、福山市民病院、庄原赤十字病院、広島市立安佐市民病院、厚生連広島総合病院、県立広島病院、厚生連尾道総合病院、国立病院機構東広島医療センター、呉共済病院、国立病院機構福山医療センター、尾道市立総合病院、国立病院機構広島西医療センター、三次中央病院

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

* 研究協力に同意いただける場合は、研究者にお知らせください。また、いったん同意した場合でも、随時撤回が可能です。研究に協力しない、または同意を撤回することによって今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257- 5 5 8 1 （輸血部長室）

広島大学病院輸血部 准教授・部長 藤井 輝久 （統括責任者）